

第9回 関東ながしま会

～東京・上野公園で鐘踊りを披露～



↑上野公園では多くの人が見物に訪れました。

11月15日、東京都台東区の上野精養軒で、関東在住の本町出身者でつくる関東ながしま会（児島寛会長）の第9回総会が開催されました。今年、長島町制施行10周年記念ということで、同会へ鷹巣種子島鐘踊り保存会24人も出席。総会の開会前に、上野公園の広場で鐘踊りを披露しました。

鐘の音や掛け声に惹かれて多くの人で賑わった広場では、関東ながしま会役員によってチラシが配られ、関東在住の人たちに長島町や鐘踊りがPRされました。

総会後の懇親会でも、鐘踊りを披露し、長島に思いを馳せる参加者約200人を魅了しました。

今回も同会から多額の寄付金や、ふるさと納税の申し込みがありました。



総会で披露する鷹巣種子島鐘踊り保存会

土曜授業

～第3回～

川床小学校
収穫の喜びを体験

♪焼き芋大会♪

9月から町内の小・中学校では、毎月第2土曜日に土曜授業が始まりました。

各学校が創意工夫をこらして実施する土曜授業を紹介します。

川床小学校（中原修校長、児童73人）の1・2年生24人が、11月14日、焼き芋大会を実施しました。

6月末の生活科の学習時間に、川床上集落の川下孝さんを講師に招き、サツマイモの品種を学びながら、植え付けを行っていた児童たち。

児童自ら畝を作り、苗を植え付け、暑い夏場にも草取りを行うなど、大切に育ててきました。そして、10月に掘り取りを行い、この日まで貯蔵していました。

収穫したサツマイモは「紅はるか」という品種で、この日は、焼き芋とふかし芋にしてそれぞれの味を楽しみました。



↑焼き芋を頬張る児童たち

今回の学習では、児童たちが自分たちで育てたものを食べる収穫の喜びや、喜びを得る前には草取りなどの苦勞が必要ということを学ぶことを目的としています。

2年生の門前奏葵（そうき）さんは「草取りや、ワラを敷く時が大変だったけど、今日食べた紅はるかは、甘くてホクホクして、とてもおいしかった」と笑顔で話しました。